



創 立 昭和32年4月19日
 会 長 菅 生 康 清
 会長エレクト 高 橋 靖
 副 会 長 長 谷 川 博 章
 幹 事 下 辻 眞 人
 広報会報記録 中 野 利 昭



2018-19年度 地区スローガン
ロータリーを学び、実践し、発信しよう； Enjoy Rotary

事務局（例会場） 例会日
 橿原市久米町 652-2 毎週金曜日
 DAIWA ROYAL HOTEL THE KASHIHARA 4F 12時30分～13時30分
 TEL/0744-28-2801（直通）
 FAX/0744-28-2802
 E-mail/krc@jeans.ocn.ne.jp Vol.62 No.16 (2018-19)
 TEL/0744-28-6636（ホテル） 2018(平成30)年11月2日発行

11月は、「ロータリー財団月間」(Rotary Foundation Month)です。

第2999回例会報告書

2018（平成30）年10月25日（木）

ーガバナー公式訪問ー

【やまとまほろばRC・あすかRCとの合同】

ホスト：やまとまほろばRC

司会 SAA・我妻 力会員
 (やまとまほろばRC)
 R.song 奉仕の理想
 ソング・リーダー 下村弘明会員
 (やまとまほろばRC)

ゲ ス ト

国際ロータリー第2650地区
 ガバナー 中川基成様
 ガバナー補佐 増田善昭様
 幹事長 岩井常二様

ニコニコ箱

- ◎自祝金……………国際ロータリー第2650地区
 ガバナー 中川基成様
 ガバナー補佐 増田善昭様
 幹事長 岩井常二様
- ◎中川ガバナー、増田ガバナー補佐、岩井地区幹事長、
 ようこそ3クラブ合同例会へ。
 ……………菅生康清会員
- ◎ミャンマーから無事帰国しました。
 ……………中川一郎会員
- ◎ご迷惑をおかけ致しましたので。
 ……………速水正明会員

会 長 挨拶

<やまとまほろばRC 吉江 貫会長>
 今年度の3クラブ合同ガバナー公式訪問のホストを務めさせて頂くやまとまほろばRCの吉江 貫でございます。会長として4ヶ月が過ぎようとしておりました、少しずつ馴染んできたのかなと感じながら会長職を楽しませて頂いております。本日は、中川基成ガバ

ナー、増田善昭ガバナー補佐、岩井常二地区幹事長におかれましては、大変お世話になりありがとうございます。会長幹事役員会に引き続きよろしくお願い申し上げます。

当クラブは5年目という節目の年を迎えています。私は今年度を今まで築いてもらったものを土台に更に発展する年にしたいと考えております。特に中川ガバナーの仰っている今年度のテーマの中にある enjoy rotary は私の心を捉えた言葉でありまして、一年間、会員全員で奉仕活動を大いにエンジョイして、その活動を通して更に親睦を深めていきたいと考えております。

当クラブの今年度の活動について少し触れますと、まず会員維持増強を第一に考えております。10名の純増を目指すよう委員会にお願いしているところですが、どうなることか終わってみてのお楽しみというところです。奉仕活動については、従来より活発な奉仕活動を続けておりますが、まず地域木材を使用したベンチ作成による地域活性化の地区補助金事業がほぼ終わりました。先日のアッセンブリーの折、ガバナー補佐より当クラブの特徴が国際奉仕に関わる活動にあるとの指摘を頂きましたが、当クラブは毎年、米山奨学生、青少年交換留学生の受け入れを続けております。ネパールでの水資源管理のグローバル補助金事業は今月RIの承認があり、姉妹クラブのハワイのラハイナサンセットRCと共にいよいよスタートする予定です。その他、少年サッカーを含め継続事業を積極的に進める予定です。

年度末には地区ロータリーのガバナー賞を頂き、来年5月19日の5周年事業を目指して、楽しく意義のある一年にしたいと考えております。皆さま今年度どうぞよろしくお願い申し上げます。

<橿原RC 菅生康清会長>

橿原RCの本年度会長を仰せつかっております菅生と申します。中川ガバナー様、増田ガバナー補佐様、

そして岩井幹事長様、あすかクラブ様、やまとまほろばクラブ様、樫原クラブとの合同公式訪問によるお越し頂きました。

本年度はお隣のあすかクラブから中川ガバナーを出されたことに大変喜んでおります。当クラブからも1984-85年に羽根先輩のお父様の羽根 實ガバナーを出しております。それから今日まで34年の間に何度かガバナーを出す機会があったのですが、いろいろな事情がありまして、結局それ以降ガバナーを出すに至っておりません。

ガバナーを出すということは、ご本人の人格や健康、経済状況はもちろん大切ですが、それを送り出すクラブ会員の皆様も本当に大変なはずで、あすかクラブの会員の皆様には敬意を感じています。

あすかクラブ様と樫原クラブは元々非常に近い関係でありますし、吉田会長は同じ木材業界の先輩で、大学の先輩でもあります。

また、やまとまほろばクラブ様のある桜井で私は育ち、商売はひいおじいさんの代から行っておりますので知り合いも沢山います。

そのような縁の深い両クラブと会長として合同例会を持てることを個人的に非常に喜んでおります。

我々3クラブの会員はクラブこそ違いますが、同じロータリアンとして共通の価値観を持っています。このロータリアンの価値観は我々だけでなく、世界共通のもので、ですから我々は世界中どこへ行ってもロータリアンというだけで、初対面でもすぐに親しくなれます。このことは本当に素晴らしいことだと思います。

あすかクラブの皆さん、やまとまほろばクラブの皆さん、これからお隣のクラブとして、そして同じロータリアンとして仲良くして頂き、時にはお互いを助け合い、また時には競い合って切磋琢磨し、ロータリアンの目的である奉仕と親睦にいそしみましょう。

そのことをお願いして、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

<あすかRC 吉田勝亮会長>

あすかRC会長を務めさせて頂いております吉田勝亮でございます。一言御挨拶申し上げます。

皆様も御承知頂いておりますように、本年度は当あすかRCから中川ガバナーを輩出するという、クラブにとりましても大変光栄で記念すべき年度でございます。そこで、当クラブでは、「ガバナー支援」をクラブ戦略の1つとして位置づけ、メンバー全員が地区の方へ出向させて頂いて、クラブをあげて、メンバー一丸となって「ガバナー支援」に取り組んでおります。

後先になりましたが、吉江会長様はじめ、やまとまほろばRCの皆様方、菅生会長様はじめ、樫原RCの



皆様方には、日頃は、「ガバナーそして地区運営」にお力添え頂いております事、この場を借りて御礼申し上げます。また、あすかRCに対しましても、何かと「御懇意」にして頂き、そして御指導、御鞭撻を賜っております事、重ねて御礼申し上げます。

本年度、会長所信として、「MEMBERS , BE AMBITIOUS!」—青雲の志を持って取り組もう！—という〈ミッション〉(クラブ理念)を掲げさせて頂きました。

「BOYS, BE AMBITIOUS!」—青年よ、大志を抱け！—かつて、クラーク博士が残された名言でございます。

「青雲の志」と訳させて頂いておりますが、広義には「空をも突き抜けるような、崇高で純粋な熱い思い」という意味があります。そんな「熱い思い」と「情熱」でもって、そして「心の若さ」を決して失う事なく、皆様方と共に、ロータリー活動に、そして、それぞれの有意義な人生に向かって、邁進していきたいと考えております。

最後になりましたが、私の大好きな詩、サムエル・ウルマンの「青春とは」を一部朗読させて頂いて、御挨拶に代えさせて頂きたいと思っております。私達中高年に、勇気と元気と情熱を与えてくれる素晴らしい詩でございますので、耳を傾けて頂きたいと思っております。

「青春とは 真の 青春とは
若き 肉体のなかに あるのではなく
若き 精神のなかにこそ ある
薔薇色の頬 真赤な唇 しなやかな身体
そういうものは たいした問題ではない
問題にすべきは つよい意思
ゆたかな想像力 もえあがる情熱
そういうものが あるか ないか
こんこんと湧きでる 泉のように
あなたの精神は
今日も新鮮だろうか
いきいきしているだろうか

臆病な二十歳がいる 既にして 老人
勇気ある六十歳がいる
青春のまっただなか
歳を重ねただけで 人は老いない
夢を失ったとき はじめて老いる

あなたの心のアンテナが
今日も青空高くそびえ立ち
いのちのメッセージを
受信しつづけるかぎり
たとえ八十歳であったとしても
あなたはつねに 青春
青春とは 真の 青春とは
若き 肉体のなかに あるのではなく
若き 精神のなかにこそ ある

ありがとうございました。

幹事報告

△次週の例会は当クラブ通算 3000 回目の例会となる。記念すべき 3000 回目の例会を皆様でお祝いしたいと思うので、ご婦人、ご家族もお誘い合わせの上、多数ご参加頂くようよろしくお願いしたい。なお、12 時開会となるのでお間違えの無いようよろしくお願いしたい。

また、例会前の 11 時 50 分からは臨時総会を開催するので、こちらもご出席頂くようよろしくお願いしたい。

△10 月 13 日に開幕した「第 10 回榎原 RC 杯学童野球大会」の決勝戦及び閉会式を、11 月 3 日に開催予定。是非ご参加頂き、子供達の勇姿をご覧頂くようよろしくお願いしたい。

「ガバナーアドレス」

— Governor's Address —

国際ロータリー第 2650 地区
中川基成ガバナー



皆様改めて、こんにちは！ただ今ご紹介頂きました国際ロータリー第 2650 地区の今年度ガバナーを仰せつかりました中川でございます。

まずもって、3 クラブの皆様はこのような機会に大勢集まって頂き、そして先程は、役員懇談会で率直に意見を交わさせて頂き、非常に有意義な時間を過ごさせて頂きまして、私にとりましても地区内 96 クラブ今日が最終の公式訪問の例会となりました。50 回目の公式訪問です。集大成のつもりで一生懸命アドレスさせて頂きたいと思っております。

この年度 1 月に国際協議会がサンディエゴでございまして、RI のバリー・ラシン会長が「Be the inspiration」というテーマを挙げました。「インスピレーションになろう」という日本語でその場では同時通訳されていて、今もインスピレーションになろうというテーマとしてあげています。

これについては、もうすでにご理解を頂いていると思いますが、非常に大事なことですので、改めて、インスピレーションの語源といいますと“スピリット”であります。スピリットはご存知の通り「魂、精神、心」でございまして、それがインスパイラルという言葉

葉になり、人の心に火をつける、人を酷使する、人の意欲を引き出す、勇気づける、こういう人に対するインパクトという強い言葉でございまして、それが、the inspiration. The inspiration が名詞になるとそういうことのできる、そういうことをするリーダーになってほしい、あるいはクラブになって欲しい、そしてロータリアンになって欲しい、という強いメッセージであります。

バリー・ラシン会長はこんな言葉を挙げました。サン＝デクジュペリというフランスの方言の言葉として、「船を造りたいと思うのであれば、設計図を描いたり、材料を集めたりするよりも前に大事なことがある。あの大海原に出かけたいという熱望を持つ」ということを挙げたのであります。

この Be the inspiration と、このテーマと同時に私達に提示されたのが、新ビジョン声明、

「Together we see a world where people unite and take action to create lasting change — across the globe, in our communities, and in ourselves.」

という一文です。これが意味するところは、大きく言うと 2 つポイントがあると思います。

1 つは、持続可能な良い変化を私達自身が、あるいは地域社会が世界に渡って生み出そうということを行っています。持続可能な良い変化、私達ロータリアン自身、あるいは皆様方の会社において、事業において、あるいは地域社会、世界に渡って良い変化を生み出そうということを行っています。

そして、もう一つ大事なことを言っています。unite and take action と言っています。良い変化を生み出すために私達は手を取り合って行動しようと言っている訳です。ともに行動しよう。このビジョン声明は、私達の国際ロータリーとして取り組むべきという道筋といえますか方法を簡潔明瞭に表していると私は思います。

地区のスローガンとして、「ロータリーを学び、実践し、発信しよう: Enjoy Rotary」を挙げさせて頂きました。ロータリーを楽しむということについては、皆様方依存の無い所だと思います。ロータリーを楽しみたい。ロータリーを楽しみたいからこそロータリーを勧めることができます。人を勇気づけることができます。勇気づける事業の奉仕事業もできるわけです。では「ロータリーを楽しむってどういうことでしょう」これが私の一つの答えとしてロータリーを学び、実践、発信という 3 つの切り口で考えた訳であります。

「学び」であります。ロータリーは学生ではありませんので、「人として人生を学ぶ」それがロータリーだと思います。ロータリーはよくできた組織だと私は思います。どういう意味かと申しますと、ロータリーのプログラムは全て、この例会もそうですし、奉仕活動もそうですし、さまざまな研修セミナー、あるいは親睦もそうですが、ロータリアン同士がお互い出会って学び合う場をロータリーが作っている訳であります。ロータリアン同士が学び合う。出会って学び合う。こ

れがロータリーの本質ではないかと思うのです。では具体的に何を学ぶのか。人としての生き方、人生。具体的にはどういうことなのか、それは、ロータリーは5つの中核的価値観を挙げているのであります。英語では、コアバリュー。このコアバリューについては、皆様それぞれよくご存知の5つの価値観であります。これは改めて大事なことです。皆様方と理解を共有したいと思います。

1つ目は**Service**です。サービスは、日本語ではサービスでありますし、ロータリーでは「奉仕」であります。奉仕の理念、奉仕の目的、すべて一番真っ先に出てくるサービスです。日本語では「奉仕」と訳します。しかし、サービスというのはいさし広い意味があります。サービスの意味は、「人の為に良心を持って行う行為」全てをサービスといいます。これがサービスの本質的な意味です。ですから職業奉仕というのは、職業を通じて皆様方が人の為に仕事をなす。有償であろうと無償であろうと全てそれはサービスの範囲に入ってくるのです。「奉仕」と訳しますと「奉り仕える」ですから、何か無償の献身的な行為に限られると思われるかもしれませんが、サービスにはもう少し広い意味があります。このことについては、先だつてのIMについて廣畑先生が話されていたことです。

2つ目が**Fellowship**です。フェロウシップは、ロータリーでは「親睦」と訳します。親しく睦まじく親睦活動、ロータリーでは非常に大事なことです。このフェロウシップは、本来の意味は、日本語の親しく睦まじくよりも強い意味があります。それはフェロウという言葉からお分かりだと思います。フェロウといふところから一つの理念、一つの目標に集った仲間のことを言います。奉仕の理念のもとに集った私達ロータリアンは、いわば同志であり仲間です。その集まりがフェロウです。そのフェロウシップとはまさに、そういう仲間が前向きな未来志向を語り合う、そういう間柄を作り上げていく、これがフェロウシップの本来の意味であります。

そして3つ目が**Leadership**です。リーダーシップはそのままで。リーダーシップは、皆様方それぞれの地位あるいはご職業の集まりです。このリーダーシップについても、私が皆様方にご紹介したいのは、あの松下幸之助さんも熱心なロータリアンだったと聞いています。大阪RCで晩年までお元氣の間は、例会に必ず出ておられたことでもあります。社員の皆さんには、必ずロータリーに行く時には「ちょっと勉強しに行ってくるよ」と言ってお出かけられたと聞いています。あの経営の神様といわれる幸之助さんが、晩年までロータリーで何か吸収しようとされている、学ぼうとされている。おそらく晩年まで何かリーダーシップのあり方を考えておられたかもしれません。おそらくリーダーシップも100年前、50年前、あるいは今、トレンドイ時代、どういうリーダーシップを私達は日頃の生活において、日頃の職業において発揮するか、これをロータリーで学ぶ訳であります。

4つ目は**Diversity**です。ダイバーシティは「多様

性」と訳しています。ロータリーは200以上の国や地域の集まりです。文化、宗教、言語、習慣、さらに今、男女、そして世代、そういった多様性の中で私達はこのロータリーに集まっています。まさに多様性を認め合う、多様性を受け入れる、それがロータリーの本質です。もう一歩進んで言えば、多様性を楽しむ、これがロータリーの醍醐味だと思います。

そして最後に**Integrity**。これがロータリーのロータリーたる、ロータリアンの心の支えだと思います。インテグリティは、ちょっと難しい英語ですが、高潔性とロータリアンでは訳しておきます。極めて高い倫理観。スポーツの世界では、それを品位と訳すようでもあります。スポーツの世界では、極めて上位に位置する価値観と聞きました。このインテグリティに対しては、まさに職業奉仕の神髄であります。それをもって私達は日常の職業生活を送っています。

こうした5つの中核的価値観というものをロータリーの本質として、日頃のロータリー活動において発揮して頂く、学んで頂く。実践という側面で見ますとまさに5大奉仕があるわけです。

職業奉仕は、今申し上げた通りですが、あと、青少年奉仕、国際奉仕、社会奉仕、そしてクラブ奉仕があります。全て人の為に良心をもってなす、それがこの実践であります。

国際奉仕で最も皆様方にご協力頂き、ロータリーとして最大の目標の一つとしてあげられているのは、ポリオ撲滅です。1985年頃から本格的にロータリーが取り組み始めましたが、1988年では35万件以上の発症例があったと聞きます。それが皆様方のご支援ご協力によりまして、昨年は22件まで減少しました。今年も10件以上発症していますがもう少しでポリオ撲滅ができるころまでできました。このロータリーの活動は、世界中からロータリー以外のところからも大きな注目・評価を受けております。ビルゲイツもこのことに感動して、ロータリーの寄付額の倍額の寄付を行うという計画をしたわけでもあります。

青少年奉仕に関しては、今日それぞれのクラブの活動を聞いていますと、非常に熱心に取り組んで頂いています。国際ロータリーの考え方を一つだけご紹介したいと思います。国際ロータリーというのは、今の社会に対していかに貢献するか、社会奉仕をしていくか、今の社会に責任を持つリーダーとして役割が期待されるわけですが、同時に、同じだけ次の世代に、今の世代を引き継いでいく責任を負っているという考え方は、それが青少年奉仕として未来への社会への奉仕という捉え方を国際ロータリーはしています。そういう訳で国際ロータリーもさまざまなプログラムを組んでいます。

ローターアクト、インターアクト、青少年交換、ライラ、あるいは皆様方の地域のニーズに合わせた青少年奉仕をして頂いている、これに対して地区も大きな予算と委員会活動における皆様の活動に大変大きなご協力、ご理解を頂いているということでございます。それだけ青少年奉仕というのは、大きな力点を置いて

いるというご理解をして頂きたいと思います。

社会奉仕となりますと、それぞれの地域の今のニーズ、今の社会に少しでも良い変化を生み出すためにさまざまな角度から企画をして頂いて、皆様で取り組んで頂くという活動をお願いしているところでございます。これからの大きなテーマになってくるのが環境保全の問題が出てきます。専門家に聞きますと、日本という国は、政府として自治体としてさまざまな取り組みはしていますが、他の先進国と比べると遅れているとされている、日本の環境問題についての取り組みは遅れている、そうであるからこそ私達は、地域に根差した草の根の環境対策、環境問題の取り組みが私達に期待されることです。

社会奉仕については、さまざまな奉仕活動がありますが、これからの社会奉仕活動というのは、奉仕プロジェクトという捉え方で活動をして頂きたいと思えます。奉仕プロジェクトというのは、国際奉仕の視点、職業奉仕の視点、青少年奉仕の視点、皆様の職業の中の仕事のノウハウ、人脈、繋がり、こういうものを生かして頂く活動をそれぞれのクラブメンバーの方々が、共に一つの事業に取り組んで頂くことが奉仕プロジェクトの考え方です。もちろんそれぞれ個別にやるのも結構ですが、一つの事業をみんなで取り組む、これが奉仕プロジェクトの考え方です。ですから国際ロータリーは、奉仕プロジェクト委員会を作ってくださいと言っていますけれども、その作り方は、皆様方の自治権、自主権のもとで委員会組織を考えて頂ければ結構かなと思います。

2016年の規定審議会の変更によりまして、クラブの自主性、自治権が大幅に広げられました。クラブ運営の方法については、各クラブで、会員種別、例会の在り方、会費、運営の仕方において、さらに自由度が増しました。なぜこういう規定に踏み込んだか、この真意は、ロータリーのあるべき姿、あるべき奉仕活動に組みやすさ、若い会員達が入りやすい、そして次世代に繋がっていくロータリーを作りたいということでもあります。

この Be the inspiration ニュー ビジョン ステートメント、この2つが出てきた、ロータリーの原点に立ち戻って社会の課題に意欲をもって、勇気をもって立ち向かうというメッセージが出た背景には、ロータリーに対する危機感があつたと聞いています。2~3年にかけてのアンケート調査の結果、ロータリアンの意識、ロータリーとはどういう活動をすべきかということについて戸惑いを持つロータリアンが増えてきた。あるいは地域社会の人々が、ロータリーがあることは知っているが何をやっているかよくわからない方々が非常に多い。世界のアンケート調査です。そして何よりもロータリー人口が1988年に120万人台いましたが、そこからずっと横ばいです。30年間横ばいならいいと思われるかも知れませんが、中身が大変なことになっている訳です。先進国といわれる欧米においては、ロータリー人口が軒並み変化しています。日本も例外ではございません。これをなんとかしなければ

ばいけないという国際ロータリーの危機感が今回の Be the inspiration であり、ニュー ビジョン ステートメントと思う訳です。

そういう組織運営について、運営方法についてそれぞれのクラブがお決めになることですが、ロータリーの本質、コア バリューについて、先程5つの価値観を申し上げましたが、これは不変です。不易流行と申します。私達はロータリーの価値観を維持していく為にそういったクラブの変化といえますか、さまざまなチャレンジをしていくというふうにお考え頂きたいと思えます。

マザーテレサの言葉を、バリー・ラシンさんが挙げました。「あなたが世界を変えたいと思うなら、まず家に帰って家族を愛しなさい。世界を変えたいならまず自分を変えることから始めなさい」ということをマザーテレサが言いました。私達自身が持続可能な良い変化、クラブにおいても地域社会においてもそういった広がりを持つ必要がある。発信というのは、マスメディア、SNS、そして My Rotary という素晴らしいツールができました。是非活用して頂きたいと思えますが、あくまでもツールで、大事なことは内容で、コンテンツが大事で、まさに皆様方が行っている奉仕活動を身近な所から発信していく。家族、友人、社員の皆さん、社会の人達に話をする機会も、そうした人達に奉仕活動にともに参加して頂く機会を作ることこそが発信の第一歩であると思えます。

私は、この、私にとっての訪問クラブであり親クラブであり誕生5年の短い期間のクラブであります。非常に親しく接して頂いているこの3クラブの方々とこのような形で公式訪問を終えることに本当に有難い気持ちでいっぱいです。これからまだまだ2018-19年度は続きます。是非とも3クラブのご発展と何よりもお一人お一人のご活躍を心から祈念申し上げまして私のアドレスとさせていただきます。ご清聴ありがとうございます。

【会長・幹事・役員・出向者懇談会】





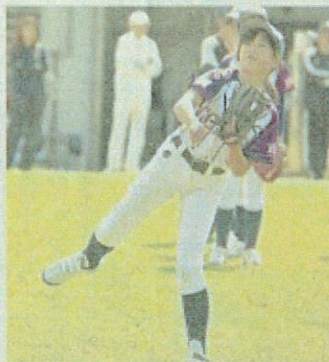
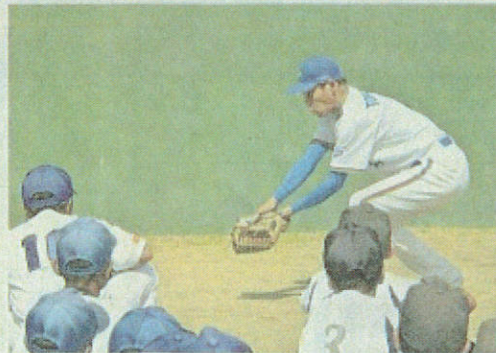


菅篠誠治の少年少女野球教室
「菅篠誠治の野球魂」
10月13日・榎原公園多目的グラウンド

一流選手から直接学ぶ



▲プロから教わる



なお、この日に開幕した第10回榎原ロータリークラブ杯学童野球大会は、11月3日まで開催され、県内各地から少年野球チームが参加し、トーナメント形式で熱戦が繰り広げられている。

13 日 第10回榎原ロータリークラブ杯学童野球大会の開幕に合わせ、元西武ライオンズの名手・菅篠誠治さんを講師に迎えて、菅篠誠治の少年少女野球教室「菅篠誠治の野球魂」が、榎原ロー

タリークラブの主催で開催された。現役引退後、各球団でコーチを歴任されてきた菅篠さんは「少しでも子どもたちの技術アップに協力したい」と、自らの経験を交えながら守備を中心に野球の基本を理論立てて分かりやすく解説。真剣な眼差しで聞く子どもたちを優しく指導していた。プロ選手の経験に基づき指導に直接触れた子どもたちは「自分の経験からの説明が分かりやすかった」「ひとつひとつ細かなところまでしっかりと説明があった。これからそれを意識していきたい」と目を輝かせていた。菅篠さんは「週に上手になるのは無いと思うが、少しずつみんなが努力し、野球がうまく、そして野球を好きになるの今後の勇姿が楽しみです」と語った。



2018年10月26日(金)
奈良新聞



【準々決勝・城島レッズー白樺ベースボールクラブ】白樺は初回、2死二塁から左前適時打で二走の北浦が本塁を突いたが、バックホームで城島の大屋捕手が刺すー樫原市立耳成小学校グラウンド

足田が4強 大淀なども

第10回樫原RCC杯
学童野球大会
第10回樫原ロータリークラブ
杯学童野球大会第2日は20日、
樫原市立耳成小学校グラウンド
などで3回戦と準々決勝が行わ
れ、足田ボーイズ、城島レッズ、
大淀ブルーサンタース、西八尾
フレンズの4強が出そろった。
準決勝、決勝は11月3日、佐
藤薬品工業の又一記念球場(樫
原市観音寺町)で行われる予定。



中川基成ガバナー杯野球大会

2018年10月27日(土)

於：黄檗公園野球場

優勝候補の京都南RCと戦い、
3-7と善戦しました！



【例会ご案内】

11月9日(金) <第2例会>

「近鉄百貨店樫原店のお話」

担当：速水正明会員

11月16日(金) <第3例会>

担当：高橋 靖会員

11月23日(金・祝)

休会

11月30日(金) <第4例会>

やまと西和RC 米山奨学生 諸 昭喜氏

担当：プログラム委員会

12月7日(金) <第1例会>

担当：永田晶三会員

【同好会】

書道同好会

11月16日(金)・11月30日(金)

12月7日(金)・12月21日(金)

午後2時～ 於：4階 楓の間

※10月19日(金)のみ4階 橘の間

【RAC例会】

〔樫原オークホテルにて、午後8時～9時15分〕

11月17日(土) <第1例会>

奈良ゾーン合同例会

11月21日(水) <第2例会>

財務①

※卓話資料はデータでの提出をお願い致します。

